2013年度　自主事業報告

特定ＮＰＯ法人　故郷の海を愛する会

２０１４年1月３１日

目　　次

ページ

０．初めに…………………………………………………………………　1
１．特定ＮＰＯ法人「故郷の海を愛する会」の目的と事業と組織　2
２．事業名『海から始まる物語』の目的と計画……………………　3
３．２０１３年度　活動報告
　　①　練習船「鳥羽丸」で行く造船所見学と郷の海山川……　4
　　　　　　　　　　　　　　　　７月２７日　実施
　　②　四日市港と川越火力発電所見学…………………………　11
　　　　　　　　　　　　　　　　８月２０日　実施
　　③　商船学校の歴史・船と海の話……………………………　18
　　　　　　　　　　　　　　　　１２月１４日　実施
４．参加者募集のポスターなど………………………………………　25
５．活動の新聞記事など………………………………………………　27
６．アンケートの結果…………………………………………………　28
７．その他の活動………………………………………………………　34
８．収支報告……………………………………………………………　36
９．ご寄付一覧…………………………………………………………　36
10．２０１４年度の活動計画…………………………………………　37
11．主催者の感想・反省………………………………………………　38

０．初めに

地域の小中学生にもっと船や海を知ってもらおうという活動を２００９年から続けてまいりましたが、この活動を継続するために、広くこの活動を知ってもらい、より多くの方々に理解し、協力して頂くために、２０１３年に特定ＮＰＯ法人「故郷の海を愛する会」を立ち上げ、２０１３年６月には三重県から認証を得て、子供達の安全安心をモットーに活動しています。

従来の任意団体「故郷の海を愛する会」の目的と何ら変わるところはありませんが、正会員・賛助会員を募集し、２０１４年１月時点では正会員４９名、2団体、賛助会員８名となっています。又、多くの個人の寄付金に加え、日本中小型造船工業会・全日本船舶職員協会・鳥羽商船同窓会から活動資金の協力を得る事が出来ました。
日本船主協会・日本海事広報協会・ＪＭＵ株式会社（造船所）・伊勢湾フェリー株式会社・四日市港管理組合・中部電力電力舘テラ４６・鳥羽商船高専などから配布資料の提供など協力して頂きました。
参加者募集の際にはポスター配布、活動紹介など、近隣市町・教育委員会、鳥羽商工会議所、鳥羽市観光協会、アイティービー、伊勢新聞、中日新聞、イオン明和店に協力して頂きました。

今年度の募集対象は従来と同じとしました。小学５・６年生と中学生を募集対象とし、三重県の中南勢地区の松阪・明和・玉城・伊勢・鳥羽・志摩・南伊勢の地域を対象としました。
今年度は事業名「**海から始まる物語**」として、その活動計画は以下の通りでした。
１回目　練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学と故郷の海山川。５０名募集。
２回目「うみてらす14」･四日市港や「電力舘テラ４６」･川越火力発電所と周辺の見学等。８０名募集。
３回目　商船学校の歴史・海の話・体験学習など。５０名募集。

１回目は　７月２７日に実施、参加者は４４名でした。
２回目は　８月２０日に実施、参加者は８５名でした。
３回目は１２月１４日に実施、参加者は５１名でした。

１回目の活動では航海する船や故郷の海を体験しました。
　　ＪＭＵ造船所では大型船の建造工程を見学し、世界に繋がる船も体感しました。
２回目の活動では四日市港で外国航路の船や港の様子を見学し、又、ＬＮＧ船が運んできた
　　ＬＮＧで発電する火力発電所も見学し、船の大切さを学んだ事と思います。
３回目は商船学校で船や海の事を学びました。鳥羽水族館の方にウミガメの話も聞きました。
　　子供達がこれらの活動を通して船や海の重要性を知り、何かロマンを感じてくれたでしょう。

おかげさまで、活動５年目となる２０１３年度も当初の計画通りの活動を実施する事が出来ました。皆様のご理解・御協力に感謝いたします。

１．特定ＮＰＯ法人「故郷の海を愛する会」の目的と事業と組織

定款で以下のように定めています。

（目的）

第３条　この法人は、主に県内に在住する小中学生に対して、故郷の海を愛する心を育て、素晴らしい日本と日本の海を認識し『希望と憧れ』の気持ちを醸成させせることに関する事業を行い、もってこどもたちの健全な育成に寄与することを目的とする。

（事業）

第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、安全、安心を確保のうえ、次の事業を行う。

特定非営利活動に係る事業

①　故郷の海を愛する心を育てる事業

②　海や船に親しむ活動の推進事業

③　世界に繋がる海で活躍し世界に雄飛する気持ちを醸成する事業

④　郷土の誇る明治の教育家「近藤真琴翁」の偉業を多くの人に知ってもらう事業

⑤　その他第3条の目的を達成するために必要な事業

その他、定款を含む団体情報は、カンパンブログ参照ください。

【団体情報閲覧用】http://fields.canpan.info/organization/detail/1882169442

（役員名簿）

役 職 名 称	氏　名	常勤/非常勤	職　業	報酬の有無
理事(会長)	古川　昭一	非常勤	無職	無
理事(副会長)	川口　心也	非常勤	無職	無
理事(副会長)	金田　　護	非常勤	船舶会社員	無
理事(会計)	三井　建次	非常勤	無職	無
理事	溝井　　昇	非常勤	団体職員	無
理事	江﨑　隆夫	非常勤	会社社長	無
理事	川原　伸次	非常勤	団体職員	無
理事	山口　伸輔	非常勤	会社社長	無
理事	畑　　辰之	非常勤	水先案内人	無
監事	武部 二三男	非常勤	無職	無

（会員数）

平成２５年１０月時点での正会員数は個人４９名と２団体。賛助会員数は８名となっています。

２．事業名『海から始まる物語』の目的と計画

目的　:　地域の子供達が海洋国家の力（船を作る）・歴史（海と人の関わり）・教育（海の学校）・海で働く（船長・水族館館員の話）・海よりみる故郷を実体験することにより、海洋国家日本を認識することを目的とする。

目標　:　巨大船建造施設の見学、鳥羽丸体験乗船、四日市港・電力舘テラ46の見学、商船学校の施設の見学を行い、船長や水族館員の話を聞き、素晴らしい日本と日本の海を認識し、「希望と憧れ」の気持ちを醸成させることを目標とする。

計画　:　各市町の教育委員会、鳥羽商工会議所、ＪＭＵ株式会社(造船所)、四日市港管理組合、電力舘テラ４６､鳥羽商船高等専門学校､鳥羽商船同窓会の協力を得て、小学校、5・6年生と中学生を対象とした、全３回の事業を開催する。

当初計画は以下の通りです。

１．鳥羽商船練習船「鳥羽丸」で行く、造船所見学と故郷の海山川

①　時期：７月２７日（予備日８月１日）　募集：子供５０名、ボランティア２０名

②　練習船「鳥羽丸」に乗船し、鳥羽商船高等専門学校からＪＭＵ造船所間の往復を航海し、練習船体験航海と海より故郷を見る。

③　ＪＭＵ造船津事業所岸壁に練習船を着岸し、同造船所施設の説明を聞き、建造中の船舶と造船所内施設の見学をする（バス利用）。

２．｢うみてらす１４｣・四日市港や｢電力舘テラ４６｣・川越火力発電所と周辺の見学等。

①　時期：８月２０日　　　　募集：子供８０名、ボランティア２０名

②　鳥羽商船高専に集合、バスで四日市まで移動、四日市港と電力舘テラ４６を見学。

③　四日市港では高速艇「ゆりかもめ」で海の上から、又、ポートビルの「うみテラス１４」では地上９０ｍの高いところから四日市港を見学する。

④　「電力舘テラ４６」では火力発電所の説明を受け、舘内を見学体験する。又、川越火力発電所でどのように電気をつくっているのか見学する。

３．もうすぐクリスマス遊んで学ぼう！　商船学校の歴史・海の話・体験学習

①　時期：１２月中旬　　　　募集：子供５０名、ボランティア２０名

②　現地集合・解散（鳥羽商船高等専門学校校内）

③　体験学習と学校の施設（百周年記念会館を含む）を見学する。

④　学校の歴史や現状・海に関連することのミニ講演会を予定。

３．２０１３年度　活動報告

①　練習船「鳥羽丸」で行く造船所見学と、故郷の海山川

（7月２７日 実施）

参加者の募集

活動①と②は夏休みに予定したので、６月から準備作業を開始しました。
募集の対象は昨年同様に伊勢市・鳥羽市・志摩市・明和町・玉城町・松阪市・南伊勢町の小学５・６年生、中学生としました。これらの市町には、以下の数の学校があり、学生がいます。

	伊勢市	鳥羽市	志摩市	明和町	玉城町	松阪市	南伊勢町	合　計
小 学 校 数	24	9	19	6	4	35	6	103
中 学 校 数	12	6	11	1	1	12	3	46
小学5.6年生	約2300	約340	約800	約450	約350	約3000	約150	約7390
中　学　生	約3556	約539	約1446	約691	約482	約4177	約318	約11209

昨年に倣い、２件の活動をまとめて案内用のポスター、リーフレットを用意しました。
配布に関して、昨年は７月１２日に用意しましたが、夏休みまで配布に十分な時間が無く遅かったので今年は７月１日には各市の教育委員会に提出､その後､各学校で掲示・配布して頂きました。
別途､募集活動の協力を依頼しました。ｉＴＶ、新聞社にも募集記事の掲載をしていただきました。
参加者の募集に関して、新聞社などメディアの影響が大きい事を実感しています。

参加者

募集目標５０名のところ、４６名の応募がありましたが、最終的に４４名の参加となりました。
小学２～４年生も７名含まれています。内訳は以下の表のとおりです。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		南伊勢町		玉城町		松阪市		その他		合　計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学2~4年生		1									2	3		1	2	5
小学５年生	2		2		1		2				1	2	1	3	9	5
小学６年生	5	1			1		2				4	4		1	12	6
中学１年生									1		2				3	0
中学２年生					1				1						2	0
中学３年生															0	0
合　計	7	2	2	0	3	0	4	0	2	0	9	9	1	5	28	16

主催者側 参加者

正会員等がボランティアとして１５名が参加しました。この中には病気・負傷などの異常時に備えた看護師１名が含まれています。
更に、鳥羽商船高等専門学校から職員３名、生徒７名がボランティアとして参加してくれました。
又、鳥羽丸船長以下乗組み９名の協力を得ました。
活動の様子を見る為､全日本船舶職員協会の内田会長､鳥羽商船同窓会菱田会長も参加されました。

当日の活動計画・記録など

おはようございます
今日の予定
2013/7/27

8:30 受付開始

9:00 集合・朝のあいさつ NPO法人 故郷の海を愛する会 会長 吉川 昭一
ごあいさつ 全日本船舶職員協会 会長 内田 成孝
（受付後、班別に集まり集合 あいさつ後⇒桟橋に徒歩で移動・乗船）

9:30 出航（時間厳守でお願いします）
伊勢湾を北上 デッキなどから海岸や街並み山並みをご覧下さい。
（船内体験：船橋や制御室で話を聞く・デッキでロープワークなど）
※班別で行動します。開始時間は船内放送でお知らせします。

11:30 JMU造船 津事業所 ドック横の浮き桟橋に到着。
下船 バスにて⇒造船所内本部ビル会議室に移動。
会議室にて昼食（お弁当配布）をすませて頂きます。

13:00 会議室内で、JMU造船所の説明・案内VTRを観る。
ヘルメット配布 着用後に造船所内見学（JMUの案内）
＊ 造船所内では、バスを使いながら移動します。
＊ 1969年に開設され 敷地面積は、約737,800㎡
＊ 長さが500メートルもあるドックが2本あります。
＊ 700t吊り上げられるクレーンもあるそうです。

14:30 鳥羽丸に乗船
14:45 出航 鳥羽に向かう
（船内体験、話を聞くなど）

船内体験
※班別で行動します。
●船橋で「航海計器など」
●制御室で「機械制御計器」
●プープデッキでのロープワークなど

16:45 鳥羽商船の桟橋に到着予定。
アンケートの提出を忘れないで！
17:00 解散のあいさつ（気をつけてお帰り下さい）

熱中症に気をつけて！ 水分補給はお早めに!!

（活動計画 子供達に配布しました）

毎年恒例の活動となりましたが、子供達は動く大きな船（練習船）を体験し、航海中は故郷の海や山を眺め、初めて見るもの・経験することばかりで、楽しそうでした。
船橋では海図の説明、レーダー等の航海計器の説明を受け、船の操船も学びました。機関制御室では船の推進とか電気の事を勉強しました。ロープの結び方の実習も楽しかったようです。

海は静かだったようですが、それでも船の揺れで軽い船酔いにかかった子供もいましたが、看護師さんのアドバイスもあり、帰りの航海では全員が元気に楽しんでいました。

津の造船所では、造船所の生い立ち、建造している船の種類、船の建造過程、就航した船の役割などをＶＴＲで勉強しました。その後、２台のバスに分乗し、船の建造に使用する鋼材の受取、鋼材の加工･組み立て､塗装､艤装､ブロック搭載と船の建造工程に沿って見学する事が出来ました。途中でバスを降り､ドックゲートから巨大なドックの中で艤装工事中の鉱石専用船を見学しました。船が大きすぎて圧倒されていたようです。

造船所の用意したＶＴＲで、造船所で建造された船が世界中を航海し、それらの船が日本に多くの原料・製品を輸入し、又、日本から多くの製品を輸出していることを知り、船が日本人の生活に大いに役立っていることも学びました。

子供たちは鳥羽丸乗船、造船所見学を通して「船」「海」を体験しました。

活動記録写真

▲船長から乗船前の注意を受けた

▲ボランティアの説明を受けた

▲海図の説明を受けた

▲操船の仕方を学んだ

▲造船所ではＶＴＲで説明を受けた

▲艤装中の大型船を眺めた

▲バスで造船所構内移動

▲ドックゲートで下車、建造中の船を見学した

▲鳥羽丸機関制御室で機関長から説明を受けた

▲ロープの結び方を学んだ

▲活動の終りに鳥羽丸前で全員で記念撮影

活動に使用した鳥羽丸の紹介

鳥羽商船高等専門学校 練習船 鳥羽丸

Toba National College of Maritime Technology
Training ship TOBA-MARU

主要目

1．主要寸法等
長さ（全長）……40.00m
長さ（垂線間）……35.00m
幅（型）……8.00m
深さ（型）……3.30m
満載吃水（型）……2.80m
総トン数……244t

2．乗組員
乗組員……9名
教官……3名
学生……44名
合計……56名

3．容積
燃料油槽……40.66㎥
清水槽……52.74㎥
バラスト水槽（船首水槽）……7.28㎥

4．主機及び発電機等
主機関：ヤンマー MF29-UTD1
4サイクル、低速ディーゼル機関
1,300PS×370rpm ×1台
推進器：可変ピッチプロペラ ×1台
発電機：225KVA ×2台
バウスラスタ：1.2t ×1台

5．速力及び航続距離
試運転最大速力
（試運転状態、100%負荷）……13.80ノット
航続距離……約2,300浬

6．工程
竣工……1994年8月19日

三井造船株式会社

PRINCIPAL PARTICULARS

1. PRINCIPAL DIMENSIONS, ETC.
Length (O.A.) ……40.00m
Length (P.P.) ……35.00m
Breadth (Mld.) ……8.00m
Depth (Mld.) ……3.30m
Full Load Draft (Mld.) ……2.80m
Gross Tonnage ……244t

2. COMPLEMENT
Officers & Crews ……9p
Professors ……3p
Students ……44p
Total ……56p

3. CAPACITY
Fuel Oil Tanks ……40.66㎥
Fresh Water Tanks ……52.74㎥
Water Ballast Tank (F.P.TK.) ……7.28㎥

4. MAIN ENGINE & GENERATORS, ETC.
Main Engine : YANMAR MF29-UTD1
4cycle, Low speed DE
1,300PS×370rpm ×1set
Propeller : C.P.P. ×1set
Generator : 225KVA ×2sets
Bow Thruster : 1.2t ×1set

5. SPEED & ENDURANCE
Trial Max. Speed
(trial condition, 100% load) ……13.80kts
Endurance ……abt. 2,300sea miles

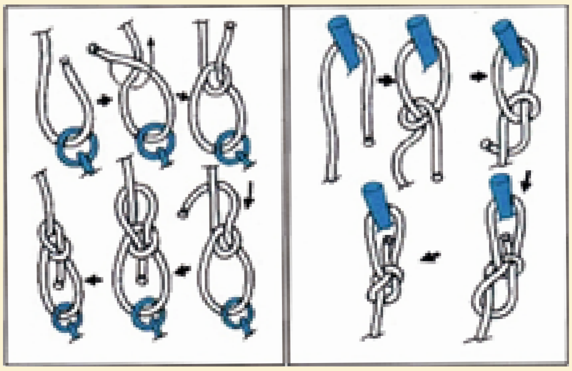
6. SCHEDULE
Delivered ……August 19, 1994

Mitsui Engineering & Shipbuilding Co., Ltd.

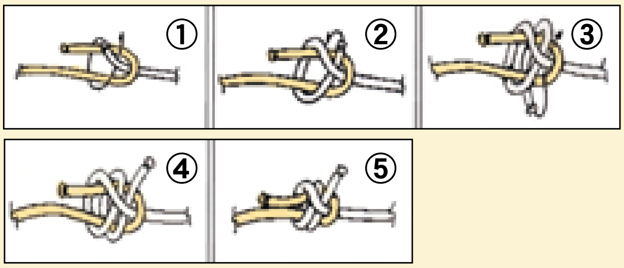
ロープワーク体験

子供達は鳥羽丸乗船中にいくつかの
ロープワーク体験をしました。その一例です。

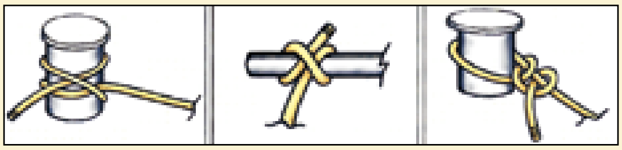
■ボーラインノット（もやい結び）



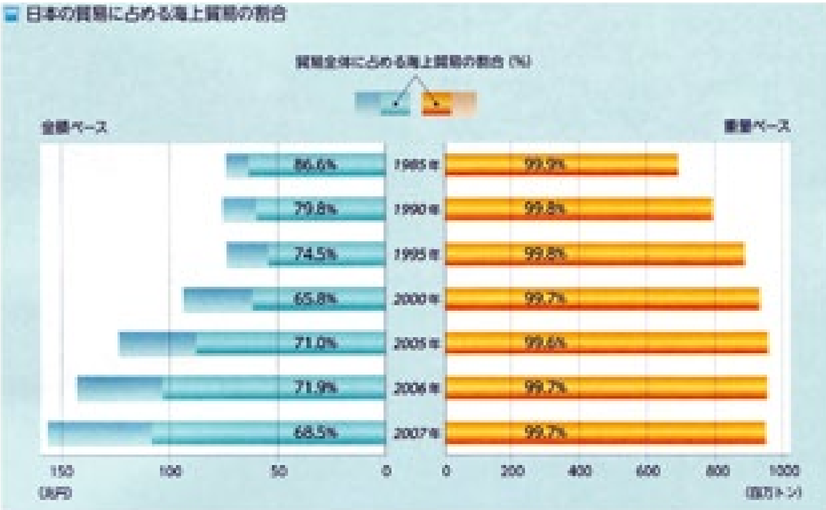
■ダブルシートベンド（ふたえつなぎ）

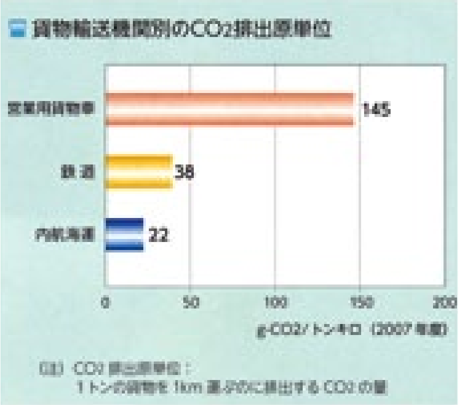


■クラブヒッチ（まき結び）



鳥羽丸機関長の説明資料の一部





空気潤滑システム

船は航行する際、海面下の船体表面と海水がこすれることで摩擦抵抗が生じます。空気潤滑法は、水中の船体を気泡で覆って摩擦抵抗を減らす技術として注目されています。

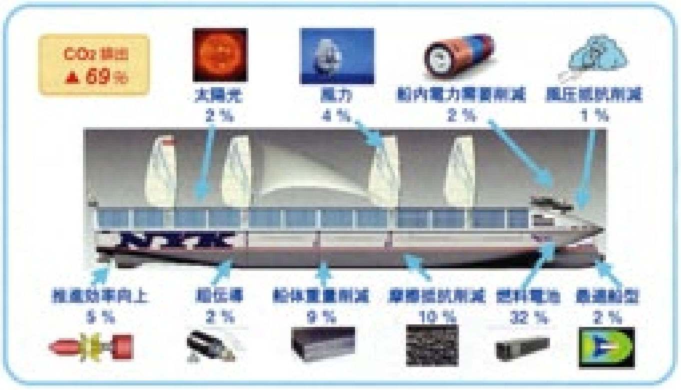
資料提供：日本郵船・三菱重工業

風の抵抗を減らした自動車運搬船（写真提供：商船三井）

「NYK スーパーエコシップ2030」 ―日本郵船―

日本郵船は、2030年を目標に、論理的には可能なものの、まだ船舶用に商業化されていない技術を盛り込んだ未来のコンテナ船「NYK スーパーエコシップ2030」を発表しました。

この船はLNGをエネルギー源とする燃料電池、船体を覆う太陽光パネルによる発電、収納可能な8枚の帆による風力の利用などクリーンなエネルギーを活用し、船の軽量化や抵抗を減らす塗料などさまざまな省エネ技術を取り入れることでCO_2排出量を69%削減することができます。



資料提供：日本郵船

ＪＭＵ造船所で勉強

船ができるまで！
船ができるまでをボクといっしょに見学しよう!
船を一隻造るには工事期間として約10ヶ月～1年もかかるんだよ!
設　計
1
お客様の要望に応じて現場で作りやすい設計図を作成します
加　工
2
設計情報をもとに機械で鉄板を切ったり曲げたりします
（加工された鉄板を部材といいます）
組　立
3
加工された部材を溶接して組み立てて大きなかたまりに仕上げます
（かたまりをブロックといいます）
艤　装
4
ブロックにパイプやはしごなどをできるだけたくさん取り付けます
ブロック搭載
5
艤装されたブロックを大型クレーンで吊り上げ、ドックの中でブロックとブロックをつなぎ合わせて船の形に仕上げていきます
進　水
6
ドックに海水を入れて船を浮かせて海に引き出し、岸壁に着岸させます
（船が初めて海に浮かぶ記念の日です）
岸壁工事
7
船内にある機器の運転、調整、室内の壁・イス・机などの装飾を行ない、最終仕上げをします
ファイナルドック入渠
8
塗装の最終仕上げ（船の化粧直し）を行い、お客様への引渡準備を完了させます
海上試運転
9
船の性能・速度などお客さまの要望を満足させているかどうか、実際に海上で船を走らせてテストをします
命名・引渡
10
よし!完成だね!
全ての工事を終えたら、船に名前をつけてお客さまにお渡しします

３．２０１３年度　活動報告

②「うみてらす１４」・四日市港や「電力館テラ４６」・川越火力発電所と周辺の見学等

（８月２０日 実施）

参加者の募集

募集の案内は活動その①と②を同時に行いましたが、締め切りはそれぞれ別々にしました。
案内の詳細に関しては①を参照ください。

参加者

募集目標８０名のところ、最終的に８５名の参加となりました。
松阪市から２５名の参加が有りました。女子では志摩市から１１名の参加が有りました。
小学２～４年生も合計２３名参加となりました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		明和町		玉城町		松阪市		南伊勢町		合　計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学2~4年生	1	2	4	2		1	4				4	2	3		16	7
小学５年生	8	5	4	1		7					6	2	1		19	15
小学６年生	1			1	1	1	1		1		9				13	2
中学１年生	3		1								2				6	0
中学２年生	4				1	2									5	2
中学３年生															0	0
合　計	17	7	9	4	2	11	5	0	1	0	21	4	4	0	59	26

主催者側 参加者

正会員等がボランティアとして１５名が参加しました。この中には病気・負傷などの異常時に備えた看護師１名が含まれています。
更に、参加の子供たちの保護者が５名ボランティアとして参加してくれました。

当日の活動計画・記録など

海から始まる物語

NPO法人　故郷の海を愛する会

2013/8/20

このイベントは、四日市港管理組合様のご後援を頂き実現いたしました。

おはようございます
今日の予定

●班の確認は出来ましたか？ 班長さんよろしくお願いします!
●班長さんを中心にして、仲よく・楽しく・元気に楽しみましょう!
●困ったことがあったら、担当のボランティアに相談しましょう。

熱中症に気をつけて！ 水分補給はお早めに!!

8:00　受付開始
8:35　集合・あいさつ　NPO法人 故郷の海を愛する会　会長　古川昭一
（受付後、班別に集合　あいさつ後⇒1号車・2号車別に乗車）

8:45　鳥羽商船高等専門学校発
＊ 車内で当日の行動予定説明
＊ 参加者・ボランティア・スタッフ等の紹介
9:50　安濃SAで休憩（約10分間）
10:15　四日市東インター

10:35　四日市港ポートビル着
10:50～11:20 1号車　ゆりかもめ乗船、
2号車「うみてらす１４」見学
11:35～12:05 1号車「うみてらす１４」見学、
2号車　ゆりかもめ乗船
12:20　バス乗車「電力館テラ４６」向け出発

12:45　川越火力発電所「電力館テラ４６」着
＊ 車内にて、職員による館内説明
13:00　昼食
13:40　その場で　火力発電所の説明がある
14:10～　「テラ４６」自由見学・各施設体験する
15:10　バスに乗車し、川越火力発電所を見学
15:30　バス見学終了、鳥羽向け出発

16:15　安濃SAで休憩（約15分間）
17:30　鳥羽商船高等専門学校着
アンケートの提出を忘れないで！
解散のあいさつ　（気をつけてお帰り下さい）

どこで楽しむ？　テラ４６館内紹介

	3F　ワンダーマシーン
4F　アドベンチャーランド	4F　サミットスタジオ
5F　ハイパーシアター	5F　プレイランド
6F　川越発電所紹介パネル	7F　川越展望サロン

（活動計画　子供達に配布しました）

四日市港では高速艇「ゆりかもめ」に乗船し、海の上から、又、ポートビルの「うみテラス１４」では地上９０mの高いところから四日市港を見学しました。ナビゲーションシアターでは四日市港の歴史や機能を学びました。コンテナふ頭では数え切れないほどのコンテナ、コールセンターではいくつもの山になっている黒い石炭。その隣には、まっ白い塩の山もありました。
これらが船でどこから運ばれてきたのか、運ばれてゆくのか、何に使われるのか、少しは考える機会になったと思います。川越火力の燃料であるＬＮＧを運ぶ船を見る事が出来なかったのは残念でした。

川越火力発電所の「テラ４６」では火力発電所の説明を受け、その後、夫々が自由時間となり、「ハイパーシアター」や「サミットスタジオ」等を楽しんでもらえたと思います。
噴き出す蒸気で羽根を回して発電する「実験器具」は、川越火力発電所がどのように電気をつくっているのかわかりやすい説明になったと思います。

帰りのバス車中では四日市港や発電所に関するクイズ問題の答え合わせをして楽しみました。この問題の答えを得ようと、活動のさなか、多くの子供達が係のオジサン・おねーさんに熱心に質問をしていたのが印象的でした。

活動記録写真

▲バス２台に分乗、鳥羽から四日市へ

▲バス車中で、船のＶＴＲを見ました。

▲四日市港で「ゆりかもめ」に乗船、

▲四日市港を海上から見学しました。

▲うみテラス１４で四日市港の歴史などを学びました。▲

▲うみテラス１４から四日市港を眺めました。

▲コンテナヤードも見えました。

▲電力舘テラ４６に到着

▲会議室で昼食

▲火力発電所について学びました。

▲ハイパーシアターで「おえかき」

▲バスに乗車

▲川越火力発電所の構内で説明を受けました。

◀1号車　集合写真

◀２号車　集合写真

参加者へのテスト問題　帰りのバス車中で答え合わせしました。

2013年8月20日

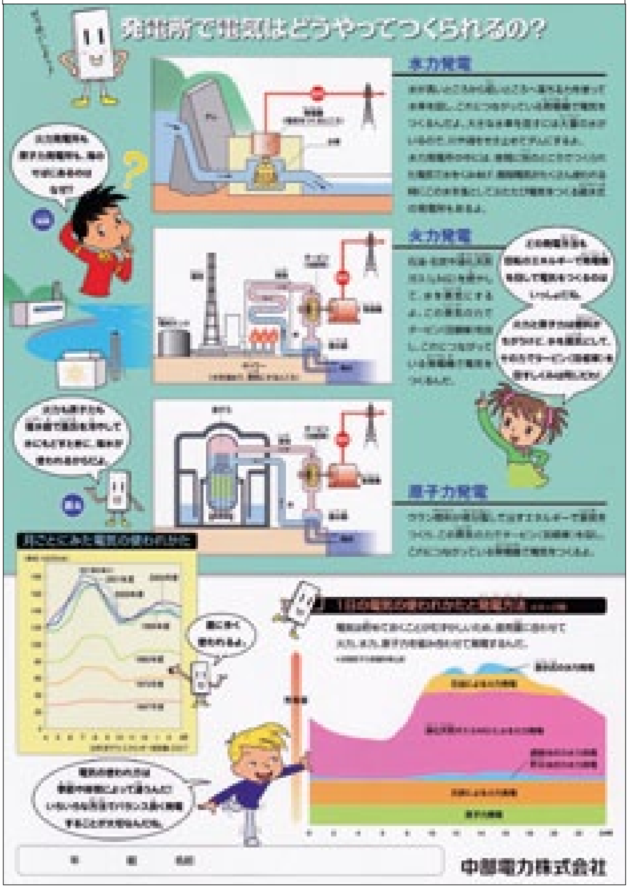
「NPO法人 故郷の海を愛する会」
2013年活動その②　問題　四日市港のこと

1．稲葉三右衛門は自分のお金を使って四日市港の整備をしました。
　工事が完成したのは？　　江戸、明治、大正、昭和。
2．四日市港が国際貿易港（外国との貿易をする港）となったのはいつ？
　　明治32年、大正12年、昭和15年、平成25年
3．四日市港は昔、何の輸入港として栄えましたか？　豪州（オーストラリア）から来ます。
　　おもちゃ、木材、自動車、羊毛
4．昭和30年代に四日市港は大きく発展しました。それは何故でしょう？
　　石油コンビナートが出来た、コンテナヤードが出来た、自動車工場が出来た
5．原油タンカーが港の外で原油を揚げる設備を何と言うでしょう？
　　タンカー基地、シーバース、港バース、荷揚場
6．外国から来る船は年間でどれくらい入港しますか？　【2011年】
　　500隻、800隻、1700隻、3000隻
7．外国から運ばれてくるもので1位、2位は？　【2011年】
　　綿花、羊毛、原油、LNG、自動車、鉄
8．外国に輸出する物で1位、2位は？　【2011年】
　　自動車、石油製品、化学製品、繊維。
9．タグボートは何をする船ですか？
　　大型船の出入港を助ける、火災の時に消火活動する、港を清掃する
10．コンテナヤードにあるガントリークレーンはコンテナを1時間に何個積み下ろしできますか？
　　20個、30個、40個、50個。
11．コンテナヤードのガントリークレーンの高さは何メートル？　20階建てのビルと同じくらい
　　20m、40m、60m、80m
12．自動車専用船に車を積む時、1時間に何台くらい積めるでしょう？　15人がチームです。
　　10台、50台、100台、200台。
13．コールセンター（石炭を置いておく所）ではダンプカー何台分の石炭をためられますか？
　　1000台、10000台、50000台、70000台
14．四日市から鳥羽まで海上の距離で約32マイルあります。16ノットの船で何時間かかる？
　（1マイルは1852m、　1ノットは船のスピード　1マイル/時間　）
　　1時間、2時間、3時間、4時間
15．四日市から姉妹港のシドニーまで約4400マイルあります。
　20ノットの船で約何日かかる？
　　1日、5日、9日、14日。

2013年8月20日

「NPO法人 故郷の海を愛する会」
2013年活動その②　問題　中部電力　川越火力のこと

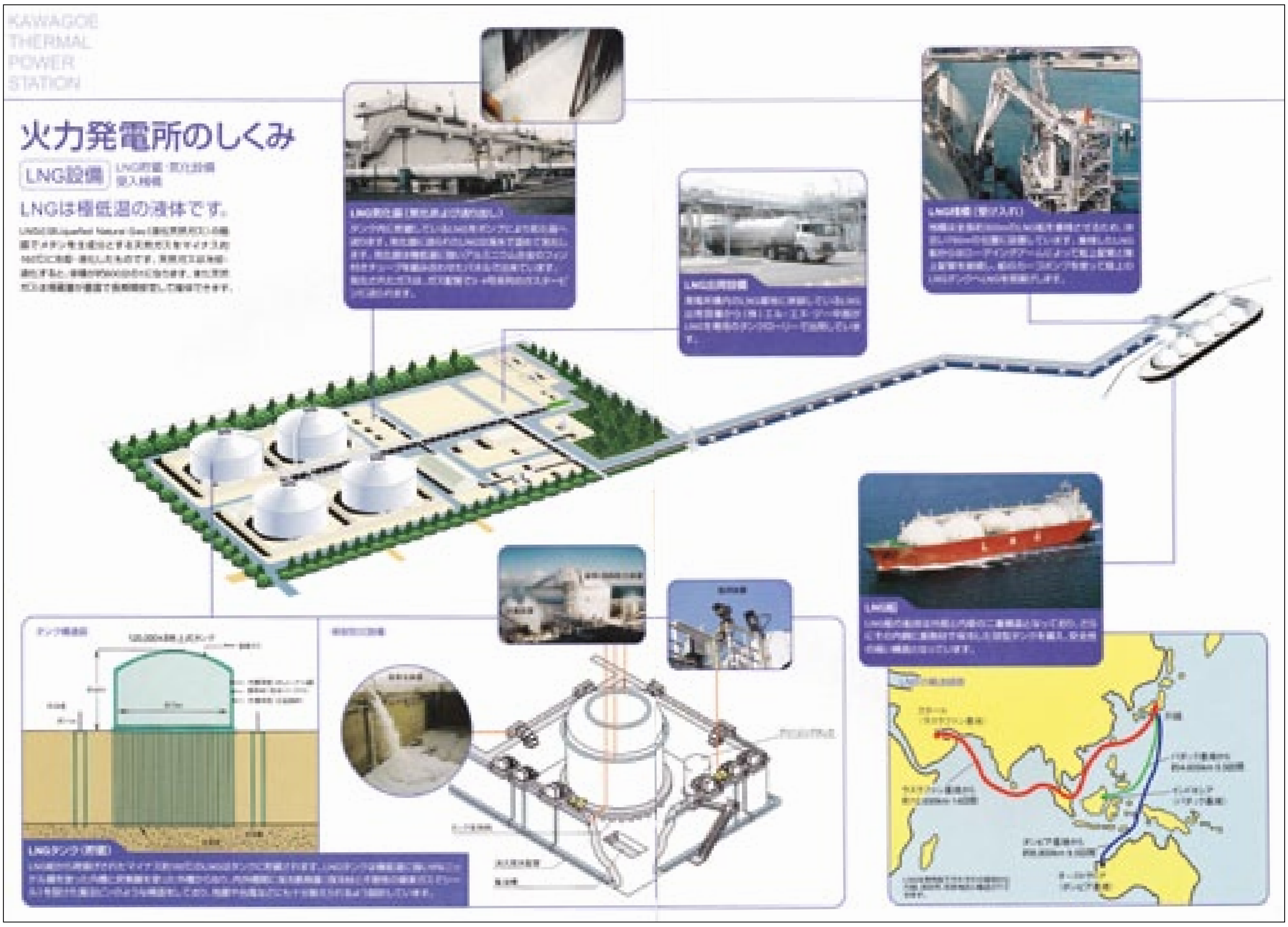
1．燃料はLNG船でどこから運ばれて来るか？
　　アメリカ、中国、オーストラリア、インド、カタール、インドネシア、イタリア
2．LNG船で運搬中のLNG（液化天然ガス）の温度は？
　　−160℃、−100℃、0℃、+100℃。
3．天然ガスは冷却・液化すると体積が何分の一になるか？
　　1/1、1/10、1/600、1/2000。
4．天然ガスは空気より
　　重い、軽い
5．何故、クリーンエネルギーと言われているか？
　　硫黄分がないので、　放射能がないので、水分がないので
6．中部電力では総発電量の約何%をLNGでまかなっているでしょう。？　【2012年】
　原子力発電所が停止中なので、以前より多くなっています。
　他に、水力発電、火力発電（石炭、石油）、風力・太陽光などがあります。
　　30%、50%、65%、90%
7．川越火力発電所の総出力は　何万キロワット？
　　10万kw、120万kw、480万kw、900万kw
8．一家庭が使う電気を約3kwとすると160万家庭の電気を作っている事になります。
　三重県の家庭数は約80万です。川越火力発電所では三重県の家庭のどれ位の電気を作り・送っていることになりますか？
　　半分、全部、二倍
9．一日に使用する燃料は灯油の量にすると何キロリットル？
　　10キロリットル、1000キロリットル、8000キロリットル、14000キロリットル。
10．送電される電気の電圧は？　何ボルト？
　　100ボルト、200ボルト、10000ボルト、275000ボルト
11．夏に消費電力が一日のうちで最も多くなるのは何時？
　　09時、12時、15時、18時、21時
12．地球が誕生して何年？
　　1000年、1000000年、1億年、46億年
13．人類が誕生して何年？
　　1000年、10000年、100000年、300000年
14．地球の資源に限りがありますが、LNGはあと何年分位つかえますか？
　　20年、40年、60年、80年
15．電気の早さは？　1秒間に
　　340m、41m、地球を7．5周。



子供達への配布資料

四日市港ポートビル「うみてらす１４」

川越火力発電所



配布資料の一部を紹介しています。

３．２０１３年度　活動報告

③　もうすぐクリスマス 遊んで学ぼう！ 商船学校の歴史・船と海の話

（１２月１４日 実施）

参加者の募集

１１月下旬から今年の事業①と②の参加者を対象にゆうメールと電話にて募集活動を行いました。最終的に５１名の応募・参加がありました。

参加者

５１名が参加してくれました。
志摩市からの参加者が最も多く１９名、伊勢市からは１１名の参加でした。
又、女子は２２名の参加者となりました。

参加者	伊勢市		鳥羽市		志摩市		明和町		玉城町		松阪市		その他		合　計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学2~4年生		1		1		2					1	1	3		4	5
小学５年生	1		1	1	2	2					1	2	2		7	5
小学６年生	4				5	2		2		5	1				10	9
中学１年生															0	0
中学２年生	2				2										4	0
中学３年生	3				1	3									4	3
合　計	10	1	1	2	10	9	0	2	0	5	3	3	5	0	29	22

主催者関係　参加者

正会員等がボランティアとして１８名が参加しました。それに加えて参加の子供たちの保護者が３名ボランティアとして昼食の用意など協力してくれました。
更に、学校設備・学生作品紹介等のために、鳥羽商船高等専門学校から職員４名、生徒２１名がボランティアとして参加してくれました。藤田鳥羽商船高専校長にも参加して頂きました。

当日の活動計画・記録など

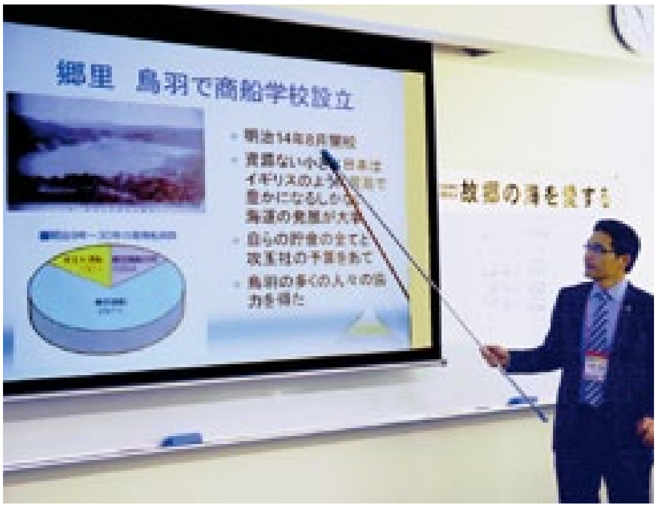
（活動計画　子供達に配布しました）

講演「近藤真琴の話」「笑顔をつくるコンピューター技術」「ウミガメの話」
「近藤真琴」は鳥羽商船の校祖です。明治時代に鳥羽藩士であった彼により作られました。
周りを海に囲まれた日本は英国のように海運が大切と考え、商船教育の必要性を感じ、商船学校を作りました。鳥羽商船高専校内にある彼の碑は勝海舟が書いたものです。
「笑顔を作るコンピューター技術」では全国高専プロコンで最優秀となった「すなケッチ」と優秀賞の「かぞくぐるみ」の作品の紹介が有りました。
「ウミガメの話」では三重県のあちこちの海岸でウミガメの産卵がみられる事、砂浜の温度でオスメスの生まれる割合が変わってくる事、護岸工事が産卵場所を少なくしている事等を学びました。

昼食後にビンゴゲームをして少し早いクリスマスを子供達全員で楽しみました。
突然、サンタさんが現れて子供達もびっくりでした。
体験コーナーでは、4 班に分かれ「身になるロープワーク」「エンジンをスタートしよう」「アプリで遊ぼう」等を体験しましたが、「すなケッチ」に一番興味を持ったのではないでしょうか。

いろいろと詰まったスケジュールでしたが、子供達は楽しんでくれたと思っています。

活動記録写真



▲近藤真琴の話

▲笑顔をつくるコンピューター技術

▲ウミガメの話

▲まじめにみんな聞いています。

▲楽しい昼食

▲その後のビンゴゲーム　サンタも参加